

平成26年度 教育委員会教育次長「政策宣言」中間報告

教育委員会教育次長 橋 詰 通

○ 平成26年度重要事業

事業名	安全・安心に学ぶための教育環境の充実
目 標	<p>全小・中学校の耐震化を完了させるため、小杉中学校校舎、射北中学校体育館の耐震補強と大規模改造工事等を実施するとともに、新湊中学校の新校舎等の竣工に向け整備に取り組みます。</p> <p>また、小・中学校の体育館の天井、照明器具など非構造部材の耐震化工事を実施するとともに、中学校の普通教室等への冷房設備設置工事を実施し、学習環境の充実に図ります。</p>
進捗状況	<p>新湊中学校の新築工事をはじめ、各学校の耐震補強工事及び大規模改造工事等は概ね計画どおり進捗しています。</p> <p>体育館等の非構造部材の耐震化工事については、吊天井に係る工事は完了しました。</p> <p>中学校の普通教室等への冷房設備設置工事はすべて完了し、来夏の暑さにも対応できるようになりました。</p>
今後の対応	<p>校舎等の建設工事については、引き続き計画どおり進捗するよう努めます。また、非構造部材の耐震化工事についても、照明器具に係る工事に順次取り掛かります。</p>

事業名	子どもたちの心の安定と基礎学力の定着
目 標	<p>学習支援を要する児童・生徒への見守りなどを行う学習サポーターを継続・増員するほか、全中学校への「チーム・ティーチング指導員」の配置や、教育相談員及び家庭訪問相談員の配置など、一人ひとりに応じた学習指導体制や子どもたちと保護者、教員に対する教育相談体制を充実させます。</p> <p>また、家庭教育力の向上を図るため、「孫育て談義」等を引き続き開催するなど、地域ぐるみで子どもたちを守り育てていく社会の実現を目指します。</p>
進捗状況	<p>学習サポーターを33人雇用し、各小・中学校に配置するとともに、チーム・ティーチング指導員を全中学校に1~2名配置しました。教育相談体制については、各学校の状況を見ながら速やかな対応に努めました。</p> <p>「孫育て談義」については計画どおり開催しており、全ての地域で高い評価を得ています。</p>
今後の対応	<p>引き続き、学習体制や教育相談体制の充実に図ります。</p> <p>残る1つの地域で「孫育て談義」を開催するほか、市内全域を対象とした「家庭教育支援講座」を実施していきます。</p>

事業名	文化・スポーツの振興
目 標	<p>本市の長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日の世代に守り伝えられてきた多種多様な芸術・文化（財）の振興・活用を図るとともに、「富山マラソン 2015 プレイベント 射水海王丸マラソン 2014」開催を始め、市内で開催される各種全国大会等への支援を通じ、市のPRや観光交流事業にも取り組んでいきます。</p>
進捗状況	<p>「放生津八幡宮祭の曳山行事」が富山県無形民俗文化財に指定されたほか、「竹内源造記念館」を拠点に鍍絵文化など特色ある地域資源の保存・活用・継承に取り組んでいます。</p> <p>「射水海王丸マラソン 2014」では、県内外から 2,907 人のランナーを迎え、ボランティアスタッフによる運営や地域振興会やスポーツクラブによる沿道の賑わいを創出したほか、県内外に射水の魅力を発信することができました。</p>
今後の対応	<p>引き続き、「歴史と文化が薫るまちづくり事業」を推進するとともに、全国鍍絵サミット開催に向け地域資源を活かした情報を発信していきます。</p> <p>春の「いみず野美術展」に続き「射水市展」等を開催し、芸術の振興に努めていきます。</p> <p>「スポーツひのまるキッズ北信越柔道大会」など全国大会等への支援をとおして、特産品販売や観光PRにも取り組んでいきます。</p>